

大学機関別認証評価

自己評価書

平成21年6月

熊本大学

目 次

大学の現況及び特徴	1
目的	3
基準ごとの自己評価	
基準 1 大学の目的	9
基準 2 教育研究組織（実施体制）	19
基準 3 教員及び教育支援者	33
基準 4 学生の受入	56
基準 5 教育内容及び方法	68
基準 6 教育の成果	144
基準 7 学生支援等	163
基準 8 施設・設備	182
基準 9 教育の質の向上及び改善のためのシステム	195
基準10 財務	209
基準11 管理運営	217

大学の現況及び特徴

1 現況

(1) 大学名 熊本大学

(2) 所在地 熊本県熊本市

(3) 学部等の構成

学部：文学部，教育学部，法学部，理学部，

医学部，薬学部，工学部

研究科：教育学研究科，社会文化科学研究科，

自然科学研究科，医学薬学研究部，

医学教育部，保健学教育部，

薬学教育部，法曹養成研究科

研究所：発生医学研究所

専攻科：特別支援教育特別専攻科

別科：養護教諭特別別科

関連施設：大学院先導機構，

イノベーション推進機構，

国際化推進機構，

総合情報基盤センター，

国際化推進センター，

大学教育機能開発総合研究センター，

政策創造研究教育センター，

五高記念館，eラーニング推進機構，

沿岸域環境科学教育研究センター，

衝撃・極限環境研究センター，

生命資源研究・支援センター，

エイズ学研究センター，

バイオエレクトロニクス研究センター，

環境安全センター，附属図書館，

保健センター，教養教育実施機構，

文学部附属永青文庫研究センター，

教育学部附属幼稚園，

教育学部附属小学校，

教育学部附属中学校，

教育学部附属特別支援学校，

教育学部附属教育実践総合センター，

医学部附属病院，

薬学部附属創薬研究センター，

薬学部附属育薬フロンティアセンター，

工学部附属工学研究機器センター，

工学部附属ものづくり創造融合工学教

育センター，

大学院自然科学研究科附属総合科学技
術共同教育センター，

大学院薬学教育部附属薬用植物園，

大学院法曹養成研究科臨床法学教育研
究センター

(4) 学生数及び教員数（平成21年5月1日現在）

学生数：学部7,978人，大学院2,274人

専任教員数：814人

助手数：5人

2 特徴

本学は，第五高等学校等の旧制諸学校を母体として，昭和 24 年に発足した総合大学であり，黒髪地区，本荘地区，大江地区の3つのキャンパスに分かれている。黒髪地区に，本部（熊本市黒髪2丁目39番1号）を置いている。

本学の理念として，総合大学として，知の創造，継承，発展に努め，知的，道德的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより，地域と国際社会に貢献することを掲げている。

大学の理念に基づき，教育目的，研究目的及び社会連携の目的を定めている。

開かれた心地よい環境の大学として，次の4つの運営基本方針を定めて全力を投入している。熊本大学の約束(KU4U)，すなわち，未来を生き抜くプロフェッショナルの養成(Upgrade)，新たな知的価値の創造(Unique)，地域連携と社会貢献(Union)，及び留学生教育と国際貢献(Universal)をミッションステートメントとして，果敢に大学改革に取り組み，教育目的・研究目的の達成，地域貢献に邁進している。また，世界に向けた学術文化の発信に努め，双方向的な国際交流を促進している。

学内 LAN (KUIC)，学内無線 LAN を基盤とする高度情報化キャンパスを構築し，独自に開発した熊本大学学務情報システム (SOSEKI)，熊本大学 WebCT，熊本大学 CALL 等を有機的に連携させた IT 活用を含めた29件の多様な教育 GP によって，学部から大学院まで一貫した教育の質向上を達成している。

「生命科学」と「その他工学」の2つの21世紀 COE から発展した3つのグローバル COE プログラム「発生医学」，「衝撃エネルギー工学」，「エイズ学」を始めとして，世界最高水準の研究と人材育成を

幅広く実施し、学術面並びに社会面で卓越した研究業績及び優れた研究業績を多数創出している。

遺伝子改変マウス，バイオエレクトロクス，熊大マグネシウム合金等，本学がイニシアティブを取る国際研究ネットワーク活動や，全学を挙げての海外フォーラムの実施など，国際的な学術交流・人的交流が活発であり，本学の活力を生み出すとともに，国際的な評価を高めている。

地域共同研究センター，ベンチャービジネスラボラトリー，インキュベーション施設と知的財産創生推進本部を発展的に充実するイノベーション推進機構の設置，政策創造研究教育センターの設置等を通じて，産学官連携研究，共同研究等を推進し，地域固有の産業技術の高度化，地域の産業振興への貢献が顕著である。

また，地域の医師養成，附属病院による高度先進医療，地域再生事業，教員養成とユアフレンド事業等により地域の医療，文化，教育の発展に寄与している。

目的

本学は、創設以来、地方中核都市に立地する国立の総合大学として充実発展し、その役割を果たしてきた。21世紀に入り、急速なグローバル化が進むとともに、社会からの大学に対する要請も多様化・高度化している。このような状況の中、本学は次の理念・目的を掲げ、構成員の力を合わせてその実現を目指すこととしている。また、理念・目的を達成するために、以下の目標を設定している。

1．熊本大学の理念

熊本大学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道德的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献する。

2．熊本大学の目的

1) 教育

個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的に教育を行う。

学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。

大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。

また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。

2) 研究

高度な学術研究の中核としての機能を高め、最先端の創造的な学術研究を積極的に推進するとともに、人類の文化遺産の豊かな継承・発展に努める。

また、総合大学の特徴を活かして、人間、社会、自然の諸科学を総合的に深化させ、学際的な研究を推進することにより、人間と環境の共生及び社会の持続可能な発展に寄与する。

3) 地域貢献・国際貢献

地方中核都市に位置する国立大学として地域との連携を強め、地域における研究中核的機能及び指導的人材の養成機能を果たす。世界に開かれた情報拠点として、世界に向けた学術文化の発信に努めることにより、地域の産業の振興と文化の向上に寄与する。

また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、双方向的な国際交流の担い手の育成を目指す。

3．熊本大学の目標

1) 教育

一般教育（教養教育）の充実

一般教育（教養教育）の内容，方法，教育環境及び実施体制について，全学的視点から絶えざる点検・評価，見直しを行い，社会の急激な変化や諸科学の高度化に対応し得るよう，広い視野に立ち，主体的に課題を探究し，総合的に判断する能力を涵養するとともに，幅広く深い教養，豊かな人間性，高い倫理観，社会的行動力を備えた人材の育成を目指す。

専門教育の充実

学部の専門教育においては，大学院教育との関連で教育内容を精査・整理し，学修目標を明確化するとともに，基礎的な専門学力の強化と専門知識・技術・技能の向上を図り，その専門性によって社会に貢献できる質の高い人材の育成を目指す。

創造性豊かな高度専門職業人の養成

大学院においては，専門領域の学術を一層深く理解させるとともに，社会人のキャリア・アップ教育を含めて，高い専門性を持つ到達目標を設定し，深い洞察力と総合的な判断力によって学術研究の新たな地平を切り開く，個性と創造性豊かな，国際社会で活躍できる高度専門職業人の養成を目指す。

国際化，情報化に柔軟に対応できる人材の育成

全ての教育課程において，国際的対話力や情報技術活用能力の向上を図るとともに，その教育環境を整備し，我が国の歴史や文化を踏まえながら，国際社会の多様な在り方を理解し，今日の世界が直面する課題の解決に向けて果敢に挑戦する人材の育成を目指す。

社会に開かれた教育活動の推進

本学の教育目的を踏まえ，子供から高齢者まで幅広い年齢層の人々が本学の教育システム並びに多様な知的資産，知的資源を活用し，生涯を通じて自己啓発を行い，自己実現ができる機会と場を提供し，社会に開かれた教育活動を積極的に推進する。

2) 研究

国際的に卓越した先導的研究の推進

学術研究の中核としての役割を果たすため，適切な人的配置と財政的資源配分を行い，研究環境の整備を図るとともに，国際的な人的交流，学術連携・協力の環を広げ，世界をリードする特色ある先導的研究を推進する。

個性と創造性のある研究の推進

自由な発想に基づく独創的な学術研究を進展させ，真理の探究，知の継承並びに高度の知識・技術・技能の発展に寄与するとともに，適切な評価に基づいて，継続性を必要とする基礎的・基盤的研究の継承と発展を図る。

活力ある学際的研究の推進

生命倫理や地球環境問題等，多面的・総合的な視点からの究明や解決が必要な課題については，総合大学としての特徴を活かして，また，必要に応じて外部の関係機関と密接な連携・協力を図りながら，多様な領域を有機的に統合した研究組織を編成して，その課題の解明・解決に取り組む。

3) 地域貢献・国際貢献

地域社会への貢献

地域社会からの要請を的確に把握し，研究成果の公開，人的交流，諸施設の開放等を通して，産業創成，地域経済振興，教育及び文化の向上，医療・福祉の増進等に積極的に貢献するとともに，教育面における社会サービスの充実に図り，地域に開かれた大学としての役割を果たす。

国際交流の推進

世界に開かれた情報拠点として、各国の大学や研究機関と学術的・文化的交流を積極的に推進するとともに、本学学生を国際社会に送り出し、留学生教育とその支援体制を充実することによって、学術文化の国際的発展に貢献する。

情報公開と広報の推進

大学に対する社会的要請を常に把握しつつ、本学の理念、目的、目標、入学者受入方針、教育内容、研究内容、地域貢献・国際貢献の状況等、社会が求める情報を公表するとともに、地域社会と国際社会に向けて広範な広報活動を積極的に行う。

(学部・研究科ごとの目的)

教育研究活動の現場である学部・研究科等においては、それぞれの特徴・個性や創意工夫を活かし、自主性・自律性、公明性を確保しながら、大学の理念・目的を実現するために、大学全体の方針を十分に踏まえた上で、次のようなそれぞれの目的を定めている。

(文学部) <http://www.let.kumamoto-u.ac.jp/let/index.html>

人間の文化的・社会的営為に関わるそれぞれの専門領域を広く学習させ、これらを通じて人間と社会・文化について深い洞察力、総合的な判断力・応用力を養い、地域文化を担い国際社会に寄与する人間を育成する。

(教育学部) <http://www.educ.kumamoto-u.ac.jp/web>

広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員の養成と地域社会における生涯学習等の指導者の養成のため、教員や地域社会の指導者として必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成することを目的とする。

(法学部) <http://www.law.kumamoto-u.ac.jp/index.html>

社会のさまざまな現象についての幅広い認識と多様な文化や価値観への的確な理解をふまえて、現代社会に生起する諸問題を、法と公共政策の視点から発見、分析、解決するための基礎的・実践的能力を、充実した教育研究をととして養成する。

(理学部) <http://www.sci.kumamoto-u.ac.jp/index-j.html>

本学部は基礎科学を考究する学部である。この基礎科学は自然の仕組みを解明したいという人間本来の知的欲求から出発する学問であり、やがては将来の科学技術に発展するものもあり、それらの成果は人類の英知あるいは文化として蓄積されるものである。そのために学生がいろいろなことに積極的に関与し課題を見つけ、それらを解決する方法を探究できること、また、それらの結果を人類の幸せのために利用できることを教育の目的とする。さらに、本学部での教育は学部・学科を越えて、できるだけ幅広く履修し、大学院で研究ができる基礎を作るように指導する。

(医学部) <http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/medical/index.html>

医学科は、強い倫理観に基づき、医学及びその関連領域における社会的な使命を追及、達成し得る人物を育てることを目的とし、科学的で独創性に富む思考力を涵養するとともに、医師として必要な基本的知識、技量を修得させ、生涯にわたって自己研鑽を積むことのできる人材を育成する。

保健学科は、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻の三専攻から成り立っており、生命や人間の尊厳に基づく心豊かな教養そして高度な専門的知識・技能を備え、チーム医療のスタッフとして活動し、広く社会に貢献できる資質の高い医療者・研究者・教育者を育成する。

(薬学部) <http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/>

薬学部では、“薬学は医薬を通して人類の健康に貢献する総合科学である”との理念のもと、医薬品の創製・生産・管理、環境・保健衛生及び薬剤師の職務等に関わる基礎知識を習得させ、生命科学を基礎とする高度の薬学的思考力と倫理観を備えた創造性豊かな人材を育成する。

(工学部) <http://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/index.php>

工学の専門知識と学際的知識を総合化した判断力を有するとともに、問題解決能力や新規分野を開拓発展させる能力を備え、人類の福祉と文化の進展、自然との共生に寄与できる技術者を養成する事を目的とする。科学技術は広く学際領域に及ぶため、単に技術を教授するだけにとどまらず、国際的な視野に立つ幅広い知識と柔軟な応用能力を持つことのできる教育を実施し、高級技術者の育成を行う。

(教育学研究科) <http://www.educ.kumamoto-u.ac.jp/web/>

学部における教員養成教育を基礎として、広い視野に立って精深な教育学の学識及び研究方法を授けるとともに、教育の場に関係する理論と実践の研究能力及び専門性を高め、教員として必要な資質能力を向上させることを目的とする。

(社会文化科学研究科) <http://www.gsscs.kumamoto-u.ac.jp/>

21世紀社会が抱える多様かつ深刻な課題を乗り越え、真に豊かな成熟社会を形成するために、グローバルとローカルの二重の視点から文化・社会についての理論的・政策的研究を推進し、それを踏まえて、文化的・政策的課題の解明・解決に立ち向かえる高度な専門的知識、幅広い識見、国際的な視野、分析・総合・応用能力、及び実践的な政策形成能力を持った人材を養成し、それらを通しての社会貢献を遂行する。

(自然科学研究科) <http://www.gsst.kumamoto-u.ac.jp/>

社会の急速な変貌に伴って起こる様々な問題に対して、科学・技術の立場から柔軟に対処しうる豊かな識見と創造的、指導的能力を持つ人材の育成を目指す。そのため、より高度な専門教育を実施する博士前期課程と、先端的・学際的・融合的・総合的な教育・研究を実施する博士後期課程とからなる区分制大学院に、制度的・組織的により強い連携と連続性を持たせ、境界領域・融合領域・学際領域に対処しうる幅広いバックグラウンドと複数の専門領域を有する総合的な人材を育成する。また、広い視野・柔軟な創造力と指導的能力の育成を図るため、学外の先端的研究機関との連携を強化して、人材需要と地域の発展に寄与する。さらに、社会人のリフレッシュ教育のための制度を緩和し、外国人留学生のための教育・研究の環境を充実させて、多様な人材を受け入れて育成することで、社会及び世界に開かれた大学としてのより一層の活性化を図る。

(医学教育部) <http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/medgrad/index.html>

医学又は生命科学の幅広い知識及び深い思考力を備えた、専門分野における国際的研究能力を有する研究者若しくは教育者又は高い研究志向及び問題解決能力を有する高度医療専門職業人を育成することを目的としている。

(保健学教育部) <http://www.hs.kumamoto-u.ac.jp/>

保健・医療・福祉領域の包括的・先端的な教育・研究を通して保健学の学問体系を確立し、その成果を社会に還元することにより、国民の健康と福祉の発展に貢献する。さらに、人間の尊厳を軸とした高い倫理観を基盤とした豊かな人間性を備え、高度な専門的知識を持ち、医療現場でリーダーシップを発揮できる高度専門職業人および教育・研究者を育成する。

(薬学教育部) <http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/phagrad/>

学部教育で培われた基礎薬科学および生命科学を基盤にして、各専門分野で自立し、かつ指導性を発揮できる、いわゆる高度な薬の専門家および生命科学者の育成を目指す。分子機能薬学専攻(分子機能薬学領域、創薬科学領域、薬物機能評価学領域)と生命薬科学専攻(生命・環境科学領域、医療薬学領域)を両輪として、医薬品創製の現場で主導的役割を果たすゲノム創薬と基盤的創薬の研究者・技術者の育成、先端的な生命科学分野および環境科学分野の研究者・技術者の育成、臨床の現場で薬の本質を深く理解した医療の担い手として、医薬品の適正使用に貢献できる高度な指導的臨床薬剤師を育成する。

(法曹養成研究科(法科大学院)) <http://www.ls.kumamoto-u.ac.jp/>

21世紀の我が国社会は、経済のグローバル化とIT技術革新に伴って知的財産が付加価値の源泉となる「ポスト工業化社会」に変容する一方、我が国全体として「事前規制・調整型社会」から「事後監視・救済型社会」への転換や法の支配の原則に従った社会や企業・地方公共団体の運営が求められるとともに、急速に進展する「少子・高齢社会」が大きな時代の流れになっていくものと考えられる。こうした我が国社会をとりまく時代の流れは、質的に多様かつ高度化した新たな法的紛争を生み出し、量的にも著しい増加がみられるものと予想される。こうした時代の要請に応えるため、質の高い法理論教育を行うことはもちろんであるが、法理論の具体的適用・応用過程、すなわち法理論と実務を架橋する教育を強く意識したプロセスとしての法曹養成教育を行い、幅広い教養、専門的資質・能力及び高い倫理観を備えた質の高い法曹を養成することを理念・目標とする。